



# 学校だより 2月号

令和5年1月31日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>



根拠をもとに、ふりかえる～令和4年度のまとめの時期にあたって～

副校長 柴 諭

暖冬で始まった今年の冬ですが、大寒をこえたあたりから暦通りの厳しい寒さの日が続いています。お変わりなくお過ごしでしょうか。そして、早いもので2023（令和5）年も一ヶ月が過ぎようとしています。私などはこの一ヶ月があっという間に感じられるのですが、皆様はいかがですか？

さて、年始にあたって“今年の目標”を掲げた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。子どもたちもそれぞれ、「〇〇を頑張りたい」「〇〇をできるようになりたい」といったそれぞれの“今年の目標”があることと思います。学校では、“1年”を年度で考えるのでスタートのタイミングはずれていますが、芹が谷南小学校にも様々な“目標”があります。

学校にとっての、もととなる、基本の目標は次の“学校教育目標”です。

『笑顔いっぱい やさしさいっぱい 芹が谷大好き みんないきいき 芹南っ子』

学校教育目標とそれぞれの学年の児童の様子、先生方や子どもたちの思いなどをぎゅっとまとめた“学年目標”、さらに、各クラスにおける合言葉のようにもなっている“学級目標”など、学校では他にもいろいろな目標がたてられています。

これらの目標は、たてるだけでは意味がありません。目標の達成に向けて、学級で、学年で、学校として、様々な取組を工夫して進めています。また、目標への道のりや結果は、振り返ることで意味を成します。



“目標と振り返り”について、私は次の3つがポイントであると考えています。

- ① 目標を達成した時の姿を具体的にイメージできていること
- ② 目標の達成や進みぐあい・手ごたえが客観的に計測できること
- ③ ②の客観的計測やエピソード等の根拠をもとに丁寧に振り返り、次の目標につなげること

12月に実施した「学校評価アンケート」には、多くの保護者・地域の皆様からご回答をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。令和4年度の教育活動について、いただいた回答をはじめ、さまざまなデータも活用して丁寧に振り返り、令和5年度の学校づくりに生かしてまいります。